

この公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷して作成したものです。

棄権しないで必ず投票しましょう

投票日

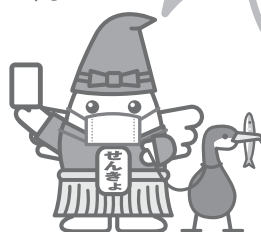
10月31日(日)

新型コロナウイルス感染症により宿泊・自宅療養等をしている方は、郵便による投票ができます。【投票用紙の請求期限】10月27日(水)必着

岐阜県選挙管理委員会

岐阜県の明るい選挙推進イメージキャラクター

鶯飼めいすいくん



18歳からの選挙

感染症対策をして投票しよう

- ・マスクの着用
- ・来場前後の手洗い
- ・周囲の方との距離の確保

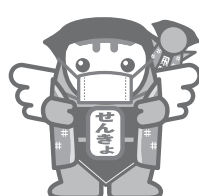
岐阜県衆院選特設サイトはこちら



岐阜県選挙管理委員会ホームページ

岐阜県 選管

検索



岐阜県の明るい選挙推進イメージキャラクター

ヤンぼめいすいくん



経済を立て直し 暮らしを守る!

— 信念と情熱

中小企業・小規模事業者向け政策を充実

中小企業経営の経験を活かし、多くの政策を実現してまいりました。すべての分野・政策につながる中小企業・小規模事業者なくして日本経済の繁栄なし。引き続き全力で取り組みます。

経済産業政策の策定・実現に大きく寄与

経済産業副大臣など、経済産業・エネルギー政策の第一線で政策に取り組み、様々な成果を上げてまいりました。経済の成長なくして、日本の発展なし。経済を立て直し、暮らしを守る!

農林水産政策策定の旗振り役

衆議院農林水産委員長など、また、自然豊かな岐阜県出身者として、数多くの法案成立、政策策定に取り組み、岐阜の農林水産業を応援する旗振り役として取り組んでいます。

日本外交・安保の第一線に立つ

岸田外務大臣のもとで外務副大臣として日本を代表し国際会議に多数参加。国民の生命と平和な暮らしに不可欠な平和安全法制を整備。日本経済を支える経済外交に取り組んでいます。

地方創生、全国の観光資源活用を支援

ふるさと名物商品化、販路開拓、若者に魅力ある町づくり、人づくり、仕事づくりを推進。創業10年未満の企業を優先した枠組みにより、新事業チャレンジ制度推進の実現に尽力しました。

安心・安全な国づくりを推進

災害に強い国づくりのため、インフラ整備に加え、国土強靱化予算を獲得し、川島大橋の復旧、地域の道路・市街地や森林整備など、目に見えぬ安心・安全な国づくりを推進しています。

子どもを生き育てやすい環境づくりを主張

教育は国の根幹。女性の職場環境改善や地位向上、地方の豊かな風土での情操教育、産休や育休など、子どもを生き育てやすい環境づくりを主張してまいりました。

航空宇宙産業の発展に寄与

航空自衛隊岐阜基地、川崎重工業はじめ、選挙区には関係企業の拠点が多数あります。地元経済発展に大きく寄与する航空宇宙産業の安定的な発展を目指して、より積極的に取り組んでいます。

国家行政マネジメント・改革を推進

行政管理局、行政評価局、統計局等を所管する総務大臣政務官を経験し、国民に対して行政機関が最も効果的効率的なサービスを提供できる環境を整備。国家公務員改革や各種統計調査を推進。

予算編成・税制改正、政策決定に幅広く関与

党政務調査会副会長として、また、予算委員会理事として、数十兆円に上る景気対策をはじめ予算編成・税制改正、政策決定等に幅広く関与。特に経済政策を担当してまいりました。

【プロフィール】昭和30(1955)年生まれ/慶應義塾大学卒業/富士フィルム在籍後、岐阜に戻って家業に入り、岐阜青年会議所、岐阜エトスRC、岐阜県経済同友会、岐阜商工会議所など地域活動を経て、平成17年衆議院議員総選挙初当選。複雑な形の選挙区をこまめに回って当選4回。

経営経験を活かした中小企業・小規模事業者対策をはじめ、安保、エネルギー、財政・金融、農林水産、医療・年金・介護等々幅広い分野に取り組む。衆議院 予算委員会理事・農林水産委員長、自民党政務調査会副会長・経済産業部会長、総務大臣政務官・外務副大臣・経済産業副大臣など歴任。

武藤ようじへの投票をよろしくお願いします



武藤ようじ

自民党公認66歳

走る さかぐち 消費税ゼロで コロナ禍の暮らしを支える!

消費税はまず5%。その後ゼロに減税。

困っている人、政治を必要とする人のもとに真っ先に駆けつけます!

現場に直行!

新型コロナに追い詰められた庶民の生活、そして中小零細企業の負担を減らします。財源は、法人税、所得税、金融所得課税、資産課税の累進性の強化により、大きく利益を上げている会社、非常に裕福な個人に充分の負担をお願いし不足分は国債発行で補います。家計の安心を作ることで消費が増えれば、税収と企業の収益もアップします。政治の責任で弱肉強食ではなく公益を生み出す資本主義に変えます。



立憲民主党

さかぐち直人

なおと 58歳

「走る さかぐち」に託した思い。

「走るさかぐち」は様々な不条理に苦しむひとのもとに真っ先に駆けつける存在でありたい!との、さかぐち直人の思いです。政治家の役割は人の上に立つことなどではなく、困っている人を下からささえること。みんなのための政治、とりわけコロナに苦しむ庶民の生活を守る政治に今こそ変えなくてはなりません。さかぐち直人と一緒に走りませんか?

1 まずはコロナ対応に全力疾走 命を守り、暮らしを支えるために

- ① 医療費削減の流れを断ち切ります。臨時医療施設の設置を促進し、入院できないコロナ患者をなくします。
- ② 持続化給付金、家賃支援給付金を実態に合わせて再給付します。低所得者や収入が激減した世帯には適正金額を給付します。
- ③ 経済を回復させるため消費税の減税と、収入1,000万円以下の所得税免除を行います。

2 日本、そして岐阜を元気に 中小零細企業を守り成長産業を生み出す

- ① 政府の負担で中小零細企業の最低賃金アップ、社会保障費の軽減、また賃上げした企業への減税を実現します。
- ② 新しい技術を活かし地域で課題解決型ビジネスを生み出し地元の成長産業に育てます。
- ③ 自然エネルギーの比率を2030年に50%にします。水素発電、電気自動車の開発に力を入れます。
- ④ 食糧安全保障の視点を踏まえ、戸別所得補償により安全で利益を出せる農業を実現します。
- ⑤ 介護士、保育士、看護師などエッセンシャルワーカーの給与を引き上げます。

3 憲法の平和主義を守る 安全保障としての世界の平和と安定への貢献

- ① 日本周辺の安全保障環境を直視し、日米同盟を軸にして「付け入る隙を与えない」専守防衛体制を整備します。
- ② 憲法の平和主義を守り、平和構築、民主化支援、紛争仲介外交の専門家として、世界の平和と安定に寄与します。

4 女性・こどもの可能性を引き出す 子育てと教育を徹底支援

- ① 女性が働きながら子育てができる環境作りを全力で取り組みます。シングルマザー支援、こどもの貧困対策、産後の再就職支援などに特に力を入れます。
- ② こどもが可能性を存分に伸ばせるよう教育予算を増額し、家庭の負担を減らします。家庭の経済力の差が教育格差を招き、貧困の固定化を生み出す現状を変えます。



さかぐち直人 プロフィール 1963年(昭和38年)6月12日生 元衆議院議員 元中央大学客員教授

経歴 早稲田大学卒業。キャンソン株式会社で輸出事業を担当。その後、国連、日本政府、NGOの一員として、カンボジア、モザンビーク、ボスニアなどの紛争地域で平和構築活動。中小零細企業を支援するコンサルタント。衆議院議員2期。

著書 「心にかける橋」(学陽書房) 「新しい平和構築論」(明石書店 共著) 「フルマラソン」(3時間30分)の撤去

趣味・特技 極真空手初段 対人地雷の撤去